

1 危機管理について

(1) 河川の水位観測の体制と状況の共有について

今回の西日本豪雨災害をみると川が合流している流域の水位が気になる。磐田市に流れる川の水位観測の状況を伺うとともに、磐田市は下流域になるので上流域の河川の状況を磐田市では、どのように把握するのかを、以下3点伺う。

- ① 市内河川の水位観測の体制を伺う。
- ② 河川水位公表情報の計測地点の状況と、計測地点の増設の考えを伺う。
- ③ 近隣市町での堤防から漏水、越水等の情報の把握方法と、河川管理者などの関係機関との連携を伺う。

(2) 情報の発信と体制、状況把握と共有について

水害避難などの情報発信のタイミングは避難準備をする市民の行動に大きく影響する。その情報を発信する考え方や職員の体制が重要と考える。そして、市民が災害を正しく知り、災害を正しく恐れ、準備するための資料や、被災時の安否の確認、関係機関との情報共有の点で以下を伺う。

- ① 避難情報の発信のタイミングの考え方と課題を伺う。
- ② 避難勧告、避難指示等の発令の運用マニュアルと、発令判断に当たる職員体制について伺う。
- ③ 水害ハザードマップの活用の考えを伺う。
- ④ 水害で被災した場合の安否確認等の状況把握をどのように考えているのかを伺う。

(3) 避難場所と避難行動について

現在、台風通過の場合の避難場所と洪水の場合の指定緊急避難場所があり、土砂災害の場合の避難場所もあり、さらに指定避難場所と様々な避難場所がある。自然災害が多様化する中での避難場所は、分かりにくいという一面もある。市民も自分から情報を取りにいかなくてはいけないが、市民への周知も重要になる。高齢者等の要配慮者の事を考えると、災害退避は市民による自助、地域による共助が大切である。自然災害が多様化する中での身近な避難場所への考え方や、自助である市民の対応を伺う。

- ① 災害種別での避難場所の考え方や周知方法そして課題を伺う。
- ② 多様化する災害の場合に身近な避難場所となる自治会館、公会堂などの市民にとって分かりやすい身近な避難場所の考え方や課題を伺う。
- ③ 避難において地域や自助として市民に求めることを伺う。

(4) 水害対策について

豪雨になると、川の中に草が生えていれば川の流量が心配になり、川の増水による堤防が気になる。堤防に増水での影響が懸念されれば、それを防がなくてはならなくなり、大型重機での作業も発生し、民間協力が必要と考える。水害により被災した場合には、災害によるゴミが発生する。

西日本の豪雨災害のとき、災害ゴミの置き場所により緊急復旧の妨げになった。以上の事から、磐田市の河川管理、災害時民間協定、災害廃棄物の置場の計画などの3点を伺う。

- ① 市管理河川のしゅんせつの状況と、その他河川の管理者との維持管理の連携を伺う。
- ② 水害を抑止する大型重機での対応など民間に頼る部分も発生する中、民間事業者との災害時の協定の状況と役割について伺う。
- ③ 災害廃棄物の市民の仮置き場所の想定、対策、計画を伺う。

2 生涯学習における防災教育について

(1) 小中学生の防災教育について

「釜石の軌跡（奇跡）」に代表されるように東日本大震災においては、子ども達の災害への対応力により、釜石市内の小中学校のほぼ全員が津波の難を逃れた。教育により身に着けた対応力が想定外を乗り越えさせた。一方、磐田市の防災意識はどうかというと、教育現場では「防災ずきん」をはじめ中学生は、地域の防災訓練に参加するなど他県に比べれば高いところにあると考える。いつ地震が起きるのかという緊迫感が、防災教育や防災訓練を通して、地域の人と児童、生徒がつながり子ども達の命を守るという強い思いが磐田市の防災力の向上の一因になると思い以下を伺う。

- ① 市内小中学校の防災教育の状況と課題を伺う。
- ② 防災教育の今後の方向性と防災訓練への参加など地域との連携についての考え、課題を伺う。
- ③ 各学校の立地場所を考慮した防災マニュアルの特長と、マニュアルの検証状況を伺う。
- ④ 生徒の防災教育上の被災地視察の必要性和考え方を伺う。

3 産業振興について

(1) 中小企業への支援について

磐田版おせっかいの相談内容をみると、特に販路開拓についての相談が多い状況である。まさしく、これらは中小企業の抱える課題と考える。また農商工業者のためのマーケティング推進事業などの販路開拓に対する支援を推進する中で、農商工の連携やマッチングから生まれる新たな市場の創出を応援している。市内に多くの中小企業がある中で、事業者は様々な状況下であり、向上心を持っている企業においても、様々な理由により新たな挑戦のタイミングを計っていると推察する。

そのような中で、今後も中小企業へのソフト面の継続的な支援が重要と思ひ以下を伺う。

- ① 磐田版おせっかい事業で見える中小企業の課題、今後の方向性を伺う。
- ② 農商工の連携の状況と事業者の意見、今後の方向性を伺う。